



を軽くすることはできないか。(仲深)

答 各種予防接種を実施しているが、国、県の補助が伴わずに予防接種についてはその接種料の基準等があり、その基準料を充分検討し出来るだけ村民に負担がかからないよう接種料の軽減について配慮の上実施しているが、将来村の財政状況等も充分考慮し、なおかつ各隣接町村の接種料金を調査し検討することにした。

問 乳児検診は坪谷区で一緒に受けているが、一時間でも良いから仲深区でできないか。(仲深)

答 この検診は日向保健所が日向市を含む入郷町村の年間実施計画に基づき実施されているので、早速保健所へ将来の年間実施計画を樹立された場合要望事項の検討してもらいたいと依頼した。ところが都合で実施が困難であるとの回答があったので、ご了承願いたい。

問 坪谷保育所に三才以下児も入所できるように取計はできないか。(仲深)

答 常設保育所の場合は、三才未満児も入所ができるが、へき地保育所(へき地保育所とは坪谷で開設しているような保育所)の場合は三才以上児でないといふので、坪谷のへき地保育所へ子供を入所させたい希望があれば、役場の福祉係に規定の入所申込申請書を提出していただければ、尚入所について不明な点は福祉係に相談されるようお願いしたい。

問 国民年金に加入している者が社会保険に加入し掛金が重複した場合は還付されるのか。還付されるのであれば期間はどの程度か。(羽坂)

答 国民年金被保険者が国民年金の保険料と厚生年金の保険料とを重複して納付した分を重複してのみ還付することになっている。還付請求は本人か代理人が印かん、国民年金手帳、厚生年金保険

者証(ないときは会社側の厚生年金についての証明書)を持って役場の福祉係で手続をしていただく。還付請求書は役場から延岡の社会保険事務所へ送付し、保険料の重複納付が認定されると直接本人宛に通知され、もよりの郵便局で受領することになる。尚、厚生年金に加入する前の国民年金保険料が未納になっていた場合は、重複分の保険料を還付せずその未納分に充当される場合もある。未納分を充当した場合は本人にその旨通知する。尚、還付の期間は請求書提出されて約一、二週間程度で還付される。請求書の不備等に返送された場合及び社会保険事務所の予算上の都合で多少還付が遅延することがあるのでご了承願いたい。

問 教育扶助料はどのような家庭が対象となるのか。(田野)

答 生活保護法の規定による最低限度の生活を維持することのできない家庭に適用される。

問 民生委員はどのようにして選任されるか。(田野)

答 民生委員法にもつき町村に設置された民生委員推薦会が推薦した者について、知事は県に設置されている民生委員審査会の意見をきいて民生委員として適当と認める者を厚生大臣に推薦することになっている。

問 予防接種を仲原公民館でも実施してもらいたい。(仲深)

答 予防接種を実施するにはワクチンの使用問題、それにともなう接種計画、たとえば接種日程、接種に必要な職員等の都合で各組合との公民館で実施することは現状としては困難な状況にあるので承願しない。

問 東郷村立病院の現況について。(田野、仲深、婦協)

答 病院の診療科目は、内科、小児科、外科、整形外科となつて居る。現在

は外科の医師が欠員で内科の加藤悠太郎博士を院長に看護婦六名給食二名事務員三名、その他二名で業務に当たっている。病床は一般病床一八床、結核病床一十一床、伝染病棟一十床、合計二九床を設けて居る。現在伝染病は〇名である。最近伝染病が非常に減少していることは喜ばしいことである。一般病床は入院七名、結核病床は十名の入院でほぼ満床である。

問 外科医師の後任について。(田野、仲深、婦協)

答 外科医師の欠員は村民の皆さんに少なからぬ不安、不便を与え経済的にも負担の増すところである。村立病院は熊本大学の医学部から内科、外科の医師の派遣方をお願いして居る。外科の先生についても現に密接に大学当局と連絡を保ち乍ら交渉を重ねて居る。

問 第二診療室におけるサービスである。病院は院長を軸として直接診療にたづさわることが業務の中心で医師、看護婦、窓口職員、事務員、他の職員に至るまで、在院、外来患者は勿論、村民中心主義の奉仕の心で仕事をしなくてはならないと思ふ。更に自戒したいと思ふ。

問 老人ホーム関係 注意を願いたい。

答 現在鈴峰園には男女九人、女二五人計五十四人入居しており、最年長者は九〇才で平均年齢は七三才となっている。これらの老人を園長以下八人の職員で世話している。この中には原則として六五才以上のもので身体上若しくは精神上、又は環境上の理由及び経済的理由によって居室において養護を要するものを入居させて居る。国民健康保険とタイアップして実施する事業もある。各種各様の公衆衛生活動は将来増加するに減少することはないと考へら



村政懇談会寸景 (福瀬)

時代とは現代医学は隔世の観がある。微妙に出来た人命、診断は各種各様の精密な病理検査が必要になってきた。検査の伴はない診断は〇と「早い時間」に病院で診断しないか」と申しあげた。患者や患者は「応急処置手当を簡単にし、それ以外の良いのに」と考へ方からイライラして、ついに「往診拒否」と余りじやないか」と云うことにもなり兼ねない気持は理解出来る。病院の都合で患者の症状を聞いたり、応急の処置方法を直接問接に連絡指導したりする場合には互いに通

れる。これが福祉行政の現われでもある。村民の皆様のこの面への御協力をお願いしたい。その他について、二、三お願したい。

1 国民健康保険税を皆納したものを病院の経費に使っている、と考へている人が一部ありますが、これは誤りであり、患者や患者は「応急処置手当を簡単にし、それ以外の良いのに」と考へ方からイライラして、ついに「往診拒否」と余りじやないか」と云うことにもなり兼ねない気持は理解出来る。病院の都合で患者の症状を聞いたり、応急の処置方法を直接問接に連絡指導したりする場合には互いに通

このことになって居る。これら老人のうち五二%が失禁者、身体障害者及び老人性痴呆等であり、このうちには一年以上もオシメをしている人や自分で食事の出来ない人もおられる。これに老衰、慢性諸病等を加えると健康者は極めて少数である。従ってここに働く職員は老人に対する理解と深い思いやりがなくてはならず、日頃からこれら薄幸な老人の余生をせめて当園でいあわせに過ごすことのできるよう、全職員が愛情をもって家庭的な処遇に努力して居る。

問 産業課関係 産業構造改善事業計画に分収造林を取り入れる考へはないか。(仲深)

答 林業構造改善事業は、本年度に計画して、昭和四十四年度から三十九年度まで事業実施の予定である。計画策定の基本的な考へ方としては、各林業経営の精通者七名を委員に選任し、審議会を設置して計画の審議中である。分収造林については、本事業に取り入れて、モデル的な分収造林を行ない、これを全村に拡大し、山林経営が零細又は山林を所有しない人の労働力を活用して、植林を積極的に推進しなればならぬと考へる。

問 建設課関係 建設課関係 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係

第三にその他のサービスについて

公立病院が一般の病院など異なる面の一に公共の保健福祉の為に公衆衛生活動が強く要求され、それを果たすことが重点である。各種の予防接種、学校検診、一般住民検診、成人老人検診、等々である。国民健康保険とタイアップして実施する事業もある。各種各様の公衆衛生活動は将来増加するに減少することはないと考へら

問 老人ホーム関係 注意を願いたい。

答 現在鈴峰園には男女九人、女二五人計五十四人入居しており、最年長者は九〇才で平均年齢は七三才となっている。これらの老人を園長以下八人の職員で世話している。この中には原則として六五才以上のもので身体上若しくは精神上、又は環境上の理由及び経済的理由によって居室において養護を要するものを入居させて居る。国民健康保険とタイアップして実施する事業もある。各種各様の公衆衛生活動は将来増加するに減少することはないと考へら

問 建設課関係

答 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係

問 建設課関係

答 建設課関係



